

拝啓

早春の候、会長におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。この度、コープ・ノース・グアムの9-11に際し、多大なるご厚志を賜り、訓練実施部隊を代表し、厚く御礼申し上げます。

おかげさまをもちまして、本訓練は、多大な成果をもって無事終了いたしました。賜りましたご厚志は、日米参加者が友誼を深めるための懇親会等に有効に活用させて頂きました。

本訓練は、第8航空団F-12による初の海外訓練でありましたが、かつてない規模の米軍部隊の参加を得て、極めて有意義な訓練が実施できました。

演習項目は、空対地射撃訓練、異機種対戦闘機戦闘訓練及び防空戦闘訓練でありましたが、実爆未経験の十名の操縦者が500ポンド実爆弾の投下を行ったほか、米空軍F-116部隊、B-152部隊及び米海軍EA-6B部隊との間で、電子戦環境下における異機種対戦闘機戦闘及び戦術航空攻撃を演習することができました。また、現地に展開してきていたF-122部隊との間でBFM訓練を実施できたことは、操縦者にとって極めて貴重な経験となりました。

本訓練を通じてコープ・ノース・グアムは新たな段階を迎えたと強く感じた次第です。空自側には、英語能力の問題など、組織的に対応すべき課題が多々ありますが、たゆまぬ努力により、日米共同対応能力の向上に邁進すべきと存じます。本訓練で得られた教訓や反省事項を確実に次年度の訓練実施部隊に申し送り、同訓練の更なる充実を図りたいと存じます。

今回賜りましたご厚情に改めて感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

敬具

訓練実施部隊指揮官

第8航空団 飛行群司令 一等空佐 増子 豊